

令和5年度企画展

弥生時代の「おわり」の赤穂 ～墓からみる地域の変化～



有年牟礼・山田遺跡出土土器 加飾壺および大型装飾器台

会期 7月12日(水)～10月9日(月・祝)

赤穂市立有年考古館

弥生時代の「おわり」の赤穂

～墓からみる地域の変化～

兵庫県赤穂市有年牟礼にある有年牟礼・山田遺跡は、昭和 63(1988)年と平成 23(2011)年に発掘調査がおこなわれました。

平成 23 年の発掘調査によって、かつての調査で見つかった大きな溝が、弥生時代終末期(約 1,750 年前)の方形周溝墓の一部であることが明らかになるとともに、そばにもう 1 基の方形周溝墓が造られていたことが分かりました。さらに、出土した土器にはこの地域特有の土器とともに、現在の岡山県や大阪府など、遠く離れた地域から運ばれてきた土器が含まれることが明らかになりました。

有年牟礼・山田遺跡の方形周溝墓群は、墓の形や作り方、供えられた土器などから、弥生時代後期(約 1,800 年前)の墓との比較が可能で、弥生時代から古墳時代へと地域社会がどのように移り変わったかを知ることができる貴重な事例として、令和 5(2023)年 3 月、出土した土器が赤穂市指定有形文化財に指定されました。

今回の展示では文化財指定を記念し、有年牟礼・山田遺跡をはじめとする赤穂市内の墳墓遺跡とそこから出土した土器をもとに、弥生時代から古墳時代にかけて、地域社会がどう変化したかを解き明かします。



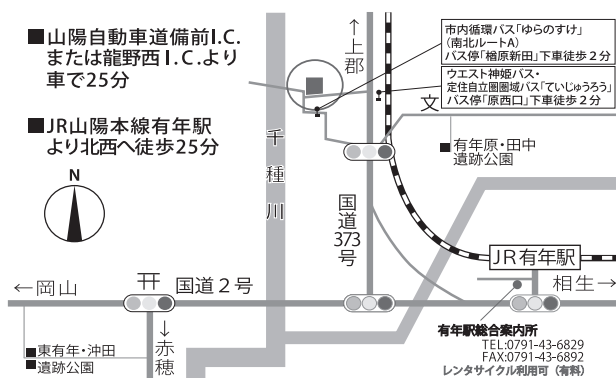
有年牟礼・山田遺跡1号墓出土 大型裝飾器台



有年牟礼・山田遺跡1号墓出土 加飾壺



有年牟礼・山田遺跡1号墓出土 大型二重口緑壺



赤穂市立有年考古館

〒678-1181 兵庫県赤穂市有年榎原1164番地 1

TEL・FAX 0791-49-3488

入館無料

■休館日 ■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年未年始(12月28日～1月4日)

■開館時間 ■ 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

■Webサイト ■ 「赤穂市立有年考古館」で検索!